

お便りください

このコーナーは、皆さんの意見や地域の問題をお届けしています
広報広聴課 ☎51-0123 内線2822へ御連絡ください

市長への
手紙から

防犯灯の設置を

今回は、今泉にお住まいの佐野さんから、防犯灯の設置についてお手紙をいただきましたので、御紹介します。

「市長への手紙」から

私の住むアパートの近くは、防犯灯がなく、木が生い茂っていることもあって、夜は車で通るのも怖いくらいです。また、暗いと何か犯罪が起きるのではないかと心配してしまいます。最近いろいろな事件が起きていますし、私には子供もいるのでとても不安です。

電気料がかかったとしても、防犯のために、ぜひもっと多くの場所に防犯灯をつけてほしいと思います。

「市長からの回答」

市内にある防犯灯の数は、一万四千四百八十三灯（平成八年度で、町内会設置の防犯灯は一万四千三百五十灯、市管理の防犯灯は百三十三灯）あります。このほかに、道路照明灯が五百六十一基（平成八年度）と、数は把握していませんが各企業な



佐野三恵子さん
ひろたか 光崇ちゃん

どが管理しているものもかなりあります。ちなみに、佐野さんのお住まいの今泉地区には、九百九十三灯設置されています。市では、町内会（区）が設置する防犯灯に対して、一灯につき一万円の補助（平成九年度予算百十灯分）と電気料等維持管理費として一灯につき、千五百円の補助を行っています。

また、毎年東京電力から富士市に対して一年に百灯の防犯灯の寄贈があり、各町内会（区）に割り振りをして設置しています。市でも、犯罪を防止する上でも危険であると思われる箇所には設置しています。

なお、防犯灯の設置については、基本的に町内会（区）が行っていますので、防犯灯が必要であると思われる箇所については、町内会（区）長と御相談ください。

★問い合わせ★

総務課 内線二七六三

ズームアップ

ふじ



シニアソフトテニスの四選手、全国大会へ

ソフトテニスの四選手が、シニア（六十歳以上の部）の全国大会出場の切符を獲得。青山浩章さん（伝法）と太田守房さん（今泉）、坪井正二郎さん（大淵）が、九月に山形市で行われる「ねりんぴっく'97山形」へ、遠藤幸司（松岡）さんが、十一月に沖縄県名護市で行われる「全国スポーツレクリエーション祭大会」へ出場します。

四人とも学生時代からの経験者で、平日の毎朝六時三十分から練習に励んでいるという熱心さ。四人の皆さんは次のように話してくれました。

「四人とも、仕事が忙しくてテニスから離れていた時期もありました。でも、定年になってからは、時間を有効に使って、みんなテニスを狂ったようにやっていますね（笑）。テニスが生きがいなんですよ。」

それに、いろいろな業種の仕事を持つ仲間励まされたり、怒られたり（笑）しながら一緒にテニスをやるのが楽しいです

◀練習は基本からゲーム形式までみっちり



▶写真左から遠藤さん、青山さん、太田さん、坪井さん

よ。でも、みんな結構勝負にこだわっていて、試合に負けたりすると悔しがっていますね。

ソフトテニスは、いくつになってもできる生涯スポーツです。また、体をいっばいに使って打てるのも魅力の一つです。これからも仲間と一緒に健康で楽しくソフトテニスがいっまでも続けられればいいと思います」